

高松大学 高松大学大学院 高松短期大学 認定こども園高松東幼稚園

2017. 9



学校法人 四国高松学園
〒761-0194 高松市春日町960番地
TEL (087)841-3255 FAX (087)841-3064

祭りは、「一祭
お祭り」をテーマに、十
月十四日・十五日に開催しま
す。
学生、職員、大学祭に関わ
る全ての人が最大限協力し、
大学祭を盛り上げようという
意味と、来ていただいたお客
様全員にわくわく、どきどき
を与えられるような大学祭に
したいという思いからこの
テーマにしました。この二日
間で学生同士はもちろん、地
域の方々、卒業生とも交流を



福井 雅也
今年度の大学祭は、「一祭お祭り」をテーマに、十月十四日・十五日に開催します。



10/14(土)
15(日)

ご友人お誘い合わせのうえ、是非ご来場ください。

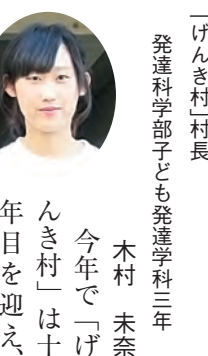


果を披露します。また、模擬店や作品展示など多彩な企画で高松大学・高松短期大学をアピールします。
毎年ご好評をいただいている発達科学部の「げんき村十丁目わんぱく通り」や保育学科の「ほいくのくに」などの子ども向けイベントも開催します。

深めることができ、大学祭となるよう努力しています。メインステージでは、ミス・ミスターコンテストやカラオケ大会などの催し物を開催し、ジャズ研究会によるライブやサークルによるダンスなど日頃の成果を披露します。

「げんき村」村長 木村 未奈
今年で「げんき村」は十年目を迎えます。今年度の「げんき村」は、「わんぱく、ジャングル探検隊」です。メインの「巨大迷路アトラクション」では、宝箱を目指し、ジャングルを探検します。他にも、ダンボール製遊具がある「げんき村広場」や二万個の積み木で遊べる「つみきの部屋」、絵本の読み聞かせや絵本の展示がある「げんき村劇場」があります。

「ほいくのくに」運営委員長 岩田 莉佳子
保育学科では、地域の子育て支援や保育の実践力は、表現力を高めるため、今年も「ほいくのくに」を開催します。



「げんき村十丁目 わんぱく通り」

「ほいくのくに」紹介

また、手作り人形劇「どうぞのいす」、「にじいろのさかな」の公演もあります。公演時間は、両日ともに十時三十分と十二時三十分からの二回公演です。ぜひお子様連れでご来場ください。

「ほいくのくに」運営委員長 岩田 莉佳子
保育学科では、地域の子育て支援や保育の実践力は、表現力を高めるため、今年も「ほいくのくに」を開催します。



発達科学部 子ども発達学科

小学校教員採用試験を受験して

発達科学部子ども発達学科四年



高木 安寿佳
七月十五日、
十六日に実施
された香川県
の小学校教員
採用試験を受
験してきました

一日目は、総合教養と専門
教養の筆記試験。緊張しなが
ら会場である高松高校に向か
いました。試験では、ゼミの
時間を利用してゼミ生や先生
と一緒に準備し、予想したこ
とが出題され、日頃の学習の
成果を実感しました。
二日目は、集団討論と音楽、
体育の実技試験が行われまし
た。集団討論は、大学の講座
での練習とは違い、受験会場
で初めて会う人たちとの討論
に少し戸惑いましたが、明る
い雰囲気での討論が進みまし
た。ピアノの弾き歌いは、前日ま
でご指導いただいた個人レッ
スンのおかげで落ち着いて演
奏することが出来ました。
大学では、採用試験を受け
る学生のための授業や講座を
多数開催してくださっていま
す。その一つ一つにきちんと
参加してきたことが今回の試
験の自信に繋がりました。先
生方や支えてくださった方々
のおかげです。ありがとうございます。

読み聞かせキッズ養成講座の開催

発達科学部子ども発達学科三年



丸山 祐佳
三月二十六
日、四月九
日、二十三日
の三日間にわ
たり読み聞か
せキッズ養成
講座を開催し
ました。中央
図書館と国分
寺図書館の読
み聞かせキッ
ズ養成講座に
応募した小学
生八名を対象
に、講話や
絵本・紙芝居
の読み方の指
導や手遊び・
体遊びの体験
を行いました。
また、最終日
には、講座参
加者による模
擬おはなし会
を行いました。
学生が指導を
していくと、
よりおはなし
を伝えたいと
いう思いが込
められた読み
方へと変容し
ていきました。



講座初
日、子ども
たちはとても
緊張していま
した。絵本読
みを通して関
わりあうこと
に打ち解けて
いき、最後は
笑顔が溢れて
いました。こ
のような子ども
たちの成長を
間近で見ること
ができ、嬉し
く思いました。

経営学部 経営学科

ポンポコ祭りに参加して

経営学部経営学科一年 野村 明生



五月三日、
四日、高松市
立中央公園で
行われた「第
十四回さぬき
高松ポンポコ
まつり」に参加
しました。
経営学部のウ
ィリアムズゼ
ミ、岡本ゼミ
、たぬきビジ
ネス研究会の
学生が中心と
なって参加し
、模擬店でポ
ップコーンと
揚げスパゲッ
ティを販売し
ました。

この模擬店で、現在
私が学んでいることと
の多くの共通点を見つ
け、「どうすれば、多く
の顧客を獲得できるの
か」「どうすれば、顧客
に満足してもらえるのか」を
考え、ワクワクしながらでき
ました。子どもからお年寄
りまで幅広い年代の人と触れ合
い、話すことで多くの刺激を
いただき、自分にとって良い
経験となりました。
今後このよ
うなイベン
トに参加し
、今回より
も多くの売
り上げに貢
献できるよう、
普



探訪/研究室

経営学部 山下 博武



自己紹介

経営学部の山下博武です。
スポーツ経営学、スポーツ社
会学、等といった講義を担
当しています。

ゼミナールの特徴

ゼミでは、スポーツ界に潜
む諸問題を批判的に検討、
経営学的に考察を試みてい
ます。今年の前期は、「運動
部活動における体罰問題」と
いうテーマに取り組みまし
た。夏休みには、勉強合宿
会を実施し、後期には、各
学生の問題意識に基づいてこれ
までの研究の検討を行って
いきます。

ゼミ生へ一言

卒業論文では、他の誰でも
できない、皆さん一人一人
にしかできない、オリジナ
ルな知識を生産しましょう。

二十歳の時の自分

「死んだ魚のような目」を
していました。大学生でし
たので、毎日のように飲み
会、ひたすらゲーム。ちよ
うど二十歳の終わり頃に「こ
のままだはいけない」と思
い直しました。

高松大学

保育学科

工夫がいつぱい
さぬきこどもの国

保育学科一年 中條 加菜



六月十八日、さぬきこどもの国に保育に生かすことができる工夫を学びに行きました。

私は、以前よりこの施設でボランティア活動をさせていただいており、子どもたちが安全で楽しく過ごせるよう、スタッフの方々が多くの配慮をされていることを普段から感じていましたが、今回見学したことで、子どもだけでなく、保護者の方々にしても、安心して楽しめる場となるよう工夫していることに改めて気づきました。



また、この日は心理学研究室による「はぐくみ×カレッジ」がありました。「はらぺこあおむし」をテーマにした活動では、子どもたちが目を輝かせて参加しており、子どもたちを惹きつける工夫がたくさんありました。

今回の学習では、子どもたちや保護者への関わり方、施設の工夫を見学し、とても良い勉強になりました。

充実した野外活動実習

保育学科一年 加藤 さくら



私たち保育学科は、野外活動実習として二泊三日で余島を訪問しました。

私が一番印象に残った活動は、海でのアクティビティです。カヤックやウィンドサーフインはとても難しかったのですが、指導員の方々と友達の助けを借りて楽しいひと時を過ごすと共に、海の大きさや波の音や海の風から体全身で感じるものが出来ました。その他にも五感を使った自然散策や野外炊飯など、多くの楽しい活動を通して仲間の新しい一面を知る



と同時に、共に生活する中で協調性や社会性も育むことができたと思います。今回の余島での体験を活かし、私たち保育学科一年生全員で日々学習に邁進していきたいです。

高松短期大学

秘書科

さぬきマルシェでの販売実習

秘書科二年 好永 梨花



ビジネス実務Iの授業で、サンポートで行われている「さぬきマルシェ」にて実習を行いました。

一年生のときは、さぬきマルシェに出店されているお店を手伝わせていただきましたが、今回は自分たちが出店し、香川県産品を販売しました。

当日は、秘書科で学んだ敬語やビジネスマナーを生かし、商品の特色や味などのポイントを一生懸命、説明しました。また、お客様に足を止めていただくために、ポップや商品陳列、声かけ、試食などを工夫しました。お客様が商品に興味を示してくださったときには、大変嬉しかったことを鮮明に覚えていきます。

商品販売の難しさと楽しさを実感できたことは、良い経験になりました。未熟な私たちのお店からご購入いただきましてお客様、本当にありがとうございました。これから、社会に出る私たちですが、今回の実習の成果を今後に生かしたいと考えています。

学外セミナーに参加して

秘書科一年 森 千尋



六月二十六日、学外セミナー第二弾として、「小豆島」へ行ききました。

私は、プライベートで何度も小豆島を訪れており、小豆島の魅力は知っているつもりでしたが、今回訪れて新たな魅力を発見しました。

それは、小豆島の方々の「おもてなし精神」です。約百三十名の大人数で小豆島ふるさと村を訪問したのですが、私たちのためにフォトフレーム作りやパーベキューなどの用意をして笑顔で迎えてくださいました。楽しい体験学習、そして美味しいお肉や野菜に、私たちが歓声をあげたのには言うまでもありません。本当にお世話になりました。ご馳走様でした。



その後、二十四の瞳映画村やエンジェルロードなどの美しい観光名所や自然豊かな小豆島を満喫し、全員で楽しい思い出を作ることができました。今も小豆島をきっかけに親しくなった友達との会話が弾んでいます。

探訪/研究室

保育学科 佐々木 利子



自己紹介

幼児教育研究室の佐々木です。これまで、幼児教育の現場で子どもたちに関わってきました。短大では教育実習・保育方法論・教育相談等を担当しています。

研究室の特徴

模擬保育や保育実践につながる教材研究をしています。また、誕生会を担当者が企画し、親睦を深めながら、保育技術を学ぶ場にもなっています。

研究室の学生へ一言

卒業後の自分を思い描きながら、そこに至る一歩として日々を大切にしてください。「学ぶのは今でしょ」かな？

二十歳の時の自分

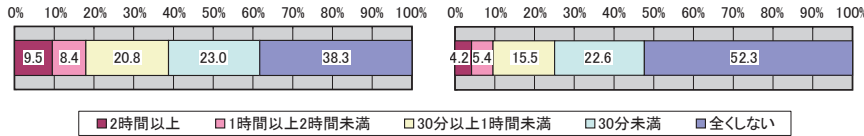
学生生活二年目、授業やクラブ活動に忙しい毎日でした。それでも、友達の下宿にみんなで集まったり、趣味のサークルに参加したりすることも楽しんでいました。

平成28年度 学生による授業評価

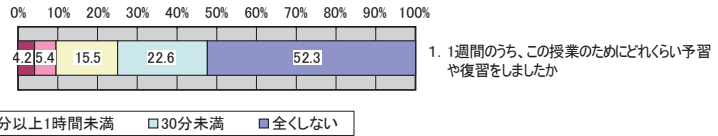
高松大学と高松短期大学では、平成14年度から学期末に「学生による授業評価」を実施している。教育活動が、どのようになされているかの一端を把握し、授業内容・方法の改善・改革に資することを目的に取り組んでいる。評価結果は、大学全体、全学共通科目、専門科目ごとにまとめている。高松大学大学院については、平成28年度から取り組みを始めた。

また、各授業担当教員がこの結果に対するコメントを記入した報告書を発刊。年度別に冊子にまとめた報告書は、図書館で閲覧可能である。
次のグラフは28年度に実施した全体の集計結果である。回収率は、大学は77.4%、短大は93.8%、大学院は87.7%であった。

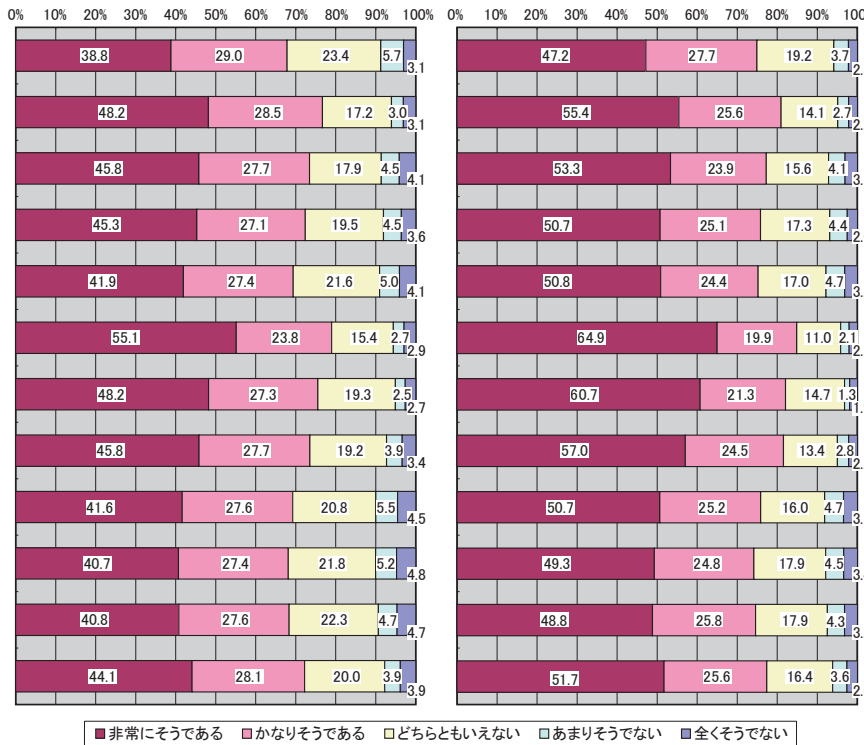
高松大学



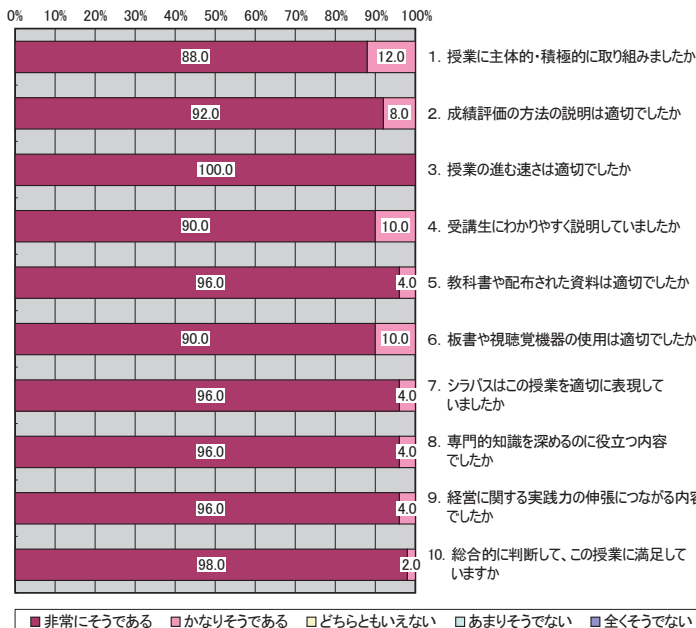
高松短期大学



1. 1週間のうち、この授業のためにどれくらい予習や復習をしましたか



高松大学大学院



保護者教育懇談会のご案内

保護者教育懇談会を下記のとおり開催します。
大学の教育方針の説明(全体会)と担当教員との個別懇談があります。就職、学生生活相談窓口も設けます。

本学会場	9月23日(土) 9:15~(8:45~受付)
高知会場	9月24日(日) 13:00~(12:30~受付) 高知パレスホテル

お問い合わせ先▶
学生課 087-841-0864

**かがわ子ども大学
高松大学キャンパスの
「イカダで遊ぼう。」を開催**

七月十七日、かがわ子ども大学高松大学キャンパスの「イカダで遊ぼう。」を開催した。



イカダの作り方の説明や諸注意のあと、四～六年生の小学生四十名が十二

チームに分かれてイカダ作りに挑戦した。チームは、小学校教員をめざす発達科学部の学生等がリーダーとなり、子どもたちと役割分担を決め、材料の運搬やイカダの骨組み作り、浮きの取り付けなど、地域の方々のサポートもいただきながら完成した。イカダが完成した順に新川に浮かべて出航し、イカダ遊びを楽しんだ。



また、水難事故防止のため、

高松東消防署の方から水防訓練の説明があり、溺れた際の救出方法なども学んだ。

新川には終始子ども大学生の笑顔があふれ、イカダ作りを通して協力し合うことの大切さを学び、地域の人々と交流することができた。

この行事には、事前の準備や荷物の運搬、当日の運営など、地域の春日十日会、青壮年会、高松源平ライオンズクラブの皆さん等と協力し開催することができた。

模擬選挙

六月二十六日、大学の授業「総合講座」内で模擬選挙等が行われた。高松市選挙管理委員会事務局より、昨年選挙権年齢が十八歳以上へ引き下げられたこと、昨年実施された参議院議員通常選挙における十八歳選挙権に関する意識調査の結果や投票についての説明があった。



その後、模擬投票では、参議院議員通常選挙の比例代表を想定し、学生が受付係、名簿対照係、選挙管理者、選挙立会人等も務めて行われた。学生全員の投票終了後、開票が行われ、模擬選挙等を通じて選挙について理解を深めた。

「はぐくみ×カレッジ」を開催



六月十八日、短大保育学科の学生十二名が、さぬきこどもの国とコラボして子どもとその保護者で楽しめる遊びの広場「はぐくみ×カレッジ」を開催した。



イベントでは、はらべこあおむしをテーマにした絵本の読み聞かせや、足型あおむしの製作等をおとして、親子とのふれあい遊びの場を提供した。学生は、事前準備、リハールなどを充分に行ったことで、スムーズな運営ができた。幼稚園教諭や保育士をめざす学生は、この経験を今後の保育活動に役立てていく。

**平成二十九年四国地区
大学総合体育大会に出場**

六月二十三日から七月九日にかけて徳島県で開催された、平成二十九年度第六十八回四国地区大学総合体育大会において、卓球（男子及び女子シ



ングルス・男子ダブルス、バレーボール（男子及び女子）、サッカー、バドミントン（男子及び女子）、シングルス・女子ダブルス）、フットサル、軟式野球、ソフトテニス（個人戦）の七種目に九十四名が参加した。

先生方も応援にかけつけ、いずれの競技も日頃の練習の成果を発揮し健闘した大会となった。試合結果は、公式ホームページに掲載している。

認定こども園高松東幼稚園ニュース



「まばゆい日差しの中で」



こども園への移行による建物の増改築に伴い、今年度からはプール遊びを戸外にて行うこととなりました。今までは東館の建物の中に室内プールとして設けており、全天候で楽しめるようになってはいたものの、日差しが入りにくいために水の冷たさを肌寒く感じることもありました。それが屋外となり、天候にこそ左右されるものの、晴天の下でたくさんの日差しを浴びながら楽しむ水の感触は、子どもたちもとても心地良かったようです。園庭にはいつもみんなの元気な笑い声と水しぶきが飛び交っていましたよ。



“初めて”とは、園外でのプール遊びが初めてです。子どもたちは、水しぶきを浴びながら、笑顔で遊んでいました。先生方も、子どもたちの様子を見守りながら、笑顔で応援していました。

保育者をめざす高校生のための保育体験ツアー(夏編)

平成二十九年八月十日、カナン保育園とカナン子育てプラザ21の二つの保育所で「保育者をめざす高校生のための保育体験ツアー」が開催され、五十三名の参加者が実習を行った。



昨年度の参加者の要望もあり、今回は保育体験の時間を増やし、

より子どもたちと関わることでできた。単なる職場体験とは違い、遊びの意味や保育士の声かけの意味を教わりなが

キラリ☆輝く人

RCサークル



経営学部 経営学科 3年
くら井 尚 凛さん

タミヤ電動RCカー世界ナンバー1を決定する「タミヤグランプリワールドチャンピオン決定戦2016」がツインメッセ静岡で開催され、TRF Championshipクラスにおいて第7位に入賞した。「日々の走行練習やデータ収集の成果が実った大会でした。今後はワールドチャンピオンを目指して努力を重ねていきたいです。」と抱負を語ってくれた。

ら、また本学保育学科卒業の保育士による保育のやりがいや素晴らしさの講話を通して、



参加者は最初は表情が硬かった参加者も子どもの笑顔に囲まれるとすぐに緊張が解け、笑顔で子どもたちと遊び、食事の模擬指導をすることができた。大学に戻って保育学科教員と保育所の先生による振り返りを行い、無事終了することができた。

冬編ツアーは十二月二十六日に開催する予定。



さぬき高松まつり

総おどりに参加

八月十四日に開催された「第五十二回さぬき高松まつり総おどり喜舞笑舞〜ミライへつなぐ瀬戸の輪舞曲〜」に、秘書科学生有志、発達科学部学生有志総勢九十名が、高松短期大学秘書科連として十六回目の出場を飾った。練習を重ねて迎えた当日、午後七時に中央通りを舞台に踊りはじめ、約一時間にわたり元気いっぱいに踊った。



春日町防災訓練

六月二十五日、高松大学・高松短期大学で「春日町防災訓練」を実施した。南海トラフを震源とする大地震発生後、津波警報が発令されたことを想定し、地域住民が高松市指定避難ビルである本学への避難等の訓練で、昨年十二月に発足した高松市消防団・機能別分団「高松大学防災サポーターチーム」の団員五名が活動した。



車椅子での移動補助や講話等の聴講、負傷者の移動訓練、AEDの使用訓練等を行った。



「たーちゃん絵本ひろば」を七月15日に本学2号館で開催しました。地域の子どもや保護者など約100名が、大型絵本や歌、手遊び、紙工作の製作など親子で参加できる遊びで学生と楽しく触れ合いました。次回は、12月16日(土)に開催する予定です。

オータムコンサートご案内

【日時】11月22日(水) 18時30分開演
【場所】高松テルサホール (高松市屋島西町2366-1)



学内選考で選ばれた学生や本学公開講座受講者、卒業生などによる演奏会です。ぜひご来場ください。

編集後記

☆体育館や図書館、廊下など大学の照明が少しずつLED化しています。本学もLED照明のようにいつまでも明るい大学でありたいと思います。